

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
1	栃木	ふくしまあじさい会 会長 佐々木 正教	ふくしまあじさい会事業	1,000	○交流会開催 栃木県内の名所を訪れて交流や心身のリフレッシュを図るとともに、参加者からニースの強い他地区の交流会に参加。 ○ボランティア奉仕作業(除草・ゴミ拾い・公共施設への植栽など) ○機関紙発行
2	広島	福島と広島をつなぐもみみのきの会 会長 西村 恵美子	福島と広島をつなぐもみみのきの会事業	465	○交流会・講演会等の開催(ハイキング・DVD上映会・クリスマス会など)
3	新潟	共に育ち合い(愛)サロンむげん 会長 増田 昌子	被災者の「心の復興」のための自立を目的としたコミュニティづくり事業	1,000	○避難者拠点「自立支援ハウス」運営 不登校やひきこもりの児童や親の居場所・活き場所として、「自主避難者・母子避難者交流会」「子育て相談会」「女性の社会参加のための講習会」等を開催。平成25年度からは自然体験イベント等も開催。
4	栃木	世代間交流喫茶「いってみつけ」 代表 貫 素夫	地域コミュニティ交流促進強化事業	928	○交流会開催(交流会に合わせてイベントを実施) ○避難者からの相談窓口開設 ○避難者に対する見守り訪問(月10戸)
5	神奈川	NPO法人 藤沢災害救援ボランティアネットワーク 理事長 森井 康夫	ふじさわ絆交流会活動事業	747	○交流会開催(交流会に合わせて相談会・イベントを実施)
6	兵庫	ぷらっとホーム 会長 川田 智子	ぷらっとカフェ事業	1,000	○交流カフェの運営 開所日を拡大。地元新聞やインターネット、子どもの玩具を設置し、参加者同士の交流、相談受付、生活支援や福島の情報を入手する場を提供。
7	山形	CHILD GUARD 代表 深瀬 靖彦	県外自主避難者の福島県への帰還に向けての支援活動事業	1,000	○交流会開催 母親同士が避難生活で生じた悩みや不安、ストレスを相談し合い、解消する場を提供。 ○セルフレスキュー講習 地震などに対しての身の守り方や緊急時にその場に応じた行動ができるような講習 ○各種相談窓口の開設

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
8	静岡	ふくしま絆の会 代表 西勝 恵子	ふくしま絆の会情報交換・親睦 等事業	975	○交流会開催(夏の屋外活動・クリスマス会や日帰旅行等も開催し、開放的な雰囲気の中で親睦を図る) ○会員宅の定期的な訪問による見守り。
9	秋田	福島県からの避難者を支援する 連絡協議会 会長 紺野 祐	避難者情報交換・交流会、絆支 援バス運行事業	1,000	○交流会開催 ○絆支援バス運行(秋田と福島を結ぶバス運行) ○帰還時にスムーズに地域コミュニティに溶け込めるよう、避難元住民等との交流を促進。
10	山形	mouffe会(もうふる会) 代表 石川 由香	避難者同士のつながりの場の提 供事業	1,000	○交流会開催 お茶会・料理教室・手芸教室等を開催。
11	埼玉	一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会 理事長 小林 直哉	埼玉県と福島県を往復する「絆 バス」事業	1,000	○埼玉県内に避難している福島県民が無料で利用できる「福島帰還バス(福玉結バス)」の運行
12	神奈川	未来・運福プロジェクト 代表 齊藤 美代子	未来・運福「東北支援」事業	1,000	○神奈川県内(特に鎌倉市)と飯館村住民を交流会に招待し、再開や新たな出会いの場を提供
13	静岡	NPO法人 静岡県災害支援隊 理事長 山本 貴史	被災者支援「コミュニケーション ネットワーク」事業	1,000	○交流会開催 近隣の支援団体と連携して、単に交流するだけでなく、潮干狩り・花火大会・みかん狩り等のレクリエーショ ンと合わせて交流を図る。
14	埼玉	NPO法人 NPOレスキューライダーズ 代表 平松 奈保美	ふるさと帰還準備支援事業	1,000	○交流会開催 当該団体が有するオートバイによる機動力を活かした福島県内の情報や撮影写真の報告会や各種相談 会も実施。

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
15	栃木	日本カウンセリング学会 栃木県支部会 支部長 日野 亘千	被災者のニーズ把握及び孤立 防止のための支援を行う事業	1,000	○避難者の戸別訪問(高齢者・独居者・母子世帯を中心) ○栃木県内で開催される交流会に出向いての被災者の傾聴・カウンセリング ○こころの相談電話開設
16	山形	やまがた絆の架け橋ネットワーク 会長 大谷 哲範	山形と福島の新しい友達づくり 事業	1,000	○夏休み少女キャンプ&海水浴「親子で体験雪遊び」 子ども達の健康や成長に寄与し、福島の友達との再会や新たな友達作りを行うことで、福島とのつながりを太く・深く、福島県人であることを意識してもらう。
17	兵庫	ボランティアグループ新原 代表 新原 慶子	心&LOVEつながり 復興は女性のおしゃれから	1,000	○福祉ボランティア及び就業のための美容技術習得講座 福祉ボランティアの喜びを感じ、自分に自信を持って前向きに生きてもらう。次に、その喜びを多くの方たちに広めるため、福祉ボランティアに必要な技術習得を目指す。
18	兵庫	NPO法人 ウイズネイチャー 理事長 西森 由美子	親子ごはん会、外遊びの会、親子 キャンプ事業	1,000	○親子ごはん会 子どもを運営側に預け、料理は母親が自ら行う。調理しながらの方が会話が弾むため、通常の交流以上の効果を期待できる。 ○森遊びの会 自然の中に出かけ、心身ともにリフレッシュを図る。あわせて親子でキャンプする場も提供。
19	京都	NPO法人 知的人材ネットワーク・あいん しゅたいん 理事長 板東 昌子	放射線教育:ピア育成と普及活 動	1,000	○放射線に関する物理学的、生物・医学的学びの場と体験の場の提供 ○被災者自身の手による放射線やその生態影響についての資料作り、被災者と京都市民を中心とした学習者交流会開催 放射線に係る正しい知識を身につけてもらい、今後の生き方の判断材料としてもらう。
20	埼玉	NPO法人 すぎとSOHOクラブ 理事長 馬島 友二郎	コミュニケーションスキル習得講 座 ～初歩の初歩から覚えるパソ コン～	992	○コミュニケーションスキル習得講座(PC) 高齢者を中心にPC初歩講座を開催することで、避難者自らが多くの情報を得て、帰還に向け冷静な判断が取れるようにする。
21	埼玉	NPO法人 ヒューマンソーシャルハーモニー 研究所 代表理事 日井 智香子	こころのふる里プロジェクト	1,000	○双葉ブランドの創設 コミュニティ再生・横のつながりの構築・ふるさとを忘れない・雇用の促進等を図る。 ○双葉農園の運営 目的を持った農園づくりを行うことで、避難生活の中でもやりがいや生きがいを見つけてもらう。

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
22	群馬	きりゆう市市民活動推進ネットワーク 代表 近藤 圭子	避難者サロン「しゃやくなげ」交流 事業	600	○交流会開催 避難者の孤立を防ぐとともに、子育て世代に絞った交流の場も開催し、共通する悩みの解消を図る。 ○交流バス運行 既に帰還している方や地元自治会の方々との交流事業。
23	山形	大曾根餅つき保存会 会長 新聞 徳次郎	“餅つき体験ランチ”でサポート する事業	900	○“餅つき体験ランチ”開催 父親世代・高齢者・子ども達を対象とした交流を図ること、母親と子どもが一緒に過ごす時間に比べて、父親や祖父母と子ども達と一緒に過ごす時間が少ないことを解消するため、餅つきという動きのある形態を用いた交流会を開催。
24	山形	緑水の森被災地被災者支援活動 代表 大谷 哲範	山形県内避難者へのメンタルケア 事業	1,000	○メンタルケアの専門家によるカウンセリング・セラピープログラムを提供 社会福祉協議会相談員や支援団体等から依頼された比較的重度のトラブルを抱える避難者に対し、心理相談・ソーシャルワーク・グループワーク等の手法で対応(電話・メール・SNS・対面・訪問)。
25	山形	NPO法人 子ども支援フェイスブックプロジェクト 代表理事 仙道 富士郎	「週末寺子屋～子ども大学～」プロジェクト	1,000	○教育支援を通じた保護者の交流事業 山形の大学生を中心に、避難してきた就学児童に教育支援を実施し、食事作りなどを通してその保護者に交流の場所を提供。保護者との座談会や保護者に対するカウンセリングによる心理相談もあわせて実施。
26	埼玉	ここカフェ@川越 代表 伊藤 千亜	ここカフェ@川越	949	○交流会開催 ○「震災を伝える」イベント ○移動相談窓口開設 ○週末や長期休み等に遊びに来られるような場づくり ○一時保育サポート
27	秋田	NPO法人 あきたパートナーシップ 理事長 菅原 展子	秋田で健やかな支援事業	1,000	○ITスキルアップ講座(秋田県内で子育て中の就業を考えている母親対象) ○交流会(健康相談も行う)及び買い物支援事業(交通弱者及び外出ができない高齢者対象) ○一泊キャンプ(心身リフレッシュ・避難者同士の交流)
28	埼玉	杉戸元氣会 代表 佐藤 純俊	帰還に向けて心ひとつになる う! 全国福島友の会結成プロジェクト	990	○全国に避難している福島県民、福島のことを想う人々の想いをつなげる「全国福島友の会」結成 通常の登壇会員の他に支援会員も募り、自立運営と創業や帰還に向けての生活支援資金を融通できる仕組みを作る。

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
29	神奈川県	横須賀災害ボランティアネットワーク 代表 鷹野 克彦	横須賀しゃべり場事業	500	○交流会開催(簡単なイベント・相談窓口開設もあわせて実施)
30	埼玉県	震災支援ネットワーク埼玉 代表 猪股 正	埼玉県内避難者へのこころのサポート推進事業	1,000	○避難者に対するサポート事業 支援員が相談対応に当たり「傾聴」する中で、相談者が抱える問題点を把握し、必要に応じて適切な専門家につなぐことができるよう講座を実施し、支援者の対人援助・寄り添い支援の基礎を学んでもらう。
31	京都府	NPO法人 エンゼルネット 理事長 森一純(森和美)	避難者さんの自立(就労)支援 ～いつか帰る日のために～	1,000	○避難者家庭を対象とした無料保育及び相談事業等の実施 自立(就労)支援として、無料保育を受け付けるとともにその間に仕事を探してもらおう。また、子を持ちながらの仕事の探し方、面接の受け方、スキルアップの方法、身だしなみ講座等もあわせて行う。
32	山形県	フクシマの子ども未来を守る 家 代表 高橋 裕子	福島の家族の保養支援事業	1,000	○避難者の一時保養の場「家」の運営 心身をリフレッシュしてもらおうとともに、保養時は鶴岡市で生活できるようサポートを行う。季節に応じた野外活動や調理実習を多数企画し、「家」の利用者と長期避難者との交流を図る。
33	熊本県	一般社団法人 ACTくまもと 代表理事 寮 慶吉	避難者に対する就業・起業支援 「ひごべじ」事業	1,200	○熊本県の野菜・果物・加工品等の販売事業 避難者に対する就業・就労支援、避難者同士及び避難者と地元関係者の交流創出として、避難者は箱詰め・発送・受発注・販売企画等の業務を担当し、この業務の中で多くの人々と交流が生まれるとともに、ここで培ったノウハウを本県に帰還した際の就業につなげる。
34	大阪府	東日本大震災県外避難者西日本連絡会 代表世話人 古部 真由美	福島県からの県外避難者に対する訪問及び安否確認と相談事業	1,000	○家庭訪問・安否確認 中高年の避難者に対しては中高年スタッフ、母子避難者に対しては母子避難者スタッフという風に、訪問相手と同じ境遇であるスタッフを派遣することで、慣れない土地で孤独に陥りやすい高齢者や母子避難者を重点に心のケアや絆の維持を図る。
35	京都府	一般社団法人 関西浜通り交流会 代表理事 山内 正太郎	福島県浜通りの避難者の西日本における交流・見守り活動	1,000	○交流会開催 大阪・神戸・京都を中心として開催。管理や当日の運営は参加者自らが行い、団体は企画や支援側に戻ることで、参加者の社会的自立を促す。 ○芸報「浜通り交流会だより」発行

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
36	山形	NPO法人 フードバンク山形 代表理事 増田 勇一	ふるさと絆の晩餐支援事業	1,000	○交流会開催 ○交流中働いている方が参加しやすいよう、夕方6時以降に集える出合いの場を提供。心の相談や暮らしの相談を行える相談員・カウンセラーを合わせて配置。 ○戸別訪問調査 ○食料を配りながら引きこもり・孤立化防止を図る。
37	栃木	あじさいお茶会 代表 石嶋 恵子	あじさいお茶会ふくしま絆再生事業	1,000	○子育てサークルの開催 ○音楽家による生演奏やリトミックで親子のスキンシップや地域住民との交流を図る。 ○手作業(折り紙・小物づくり・フラワーアレンジメント等)を通しての交流する場の提供 ○各種学習会の開催(自然素材に親しむ・子どものいじめ問題解決)
38	秋田	東日本大震災による避難者を支援する秋田県南連絡協議会 会長 丹 すみ子	東日本大震災による避難者を支援する秋田県南連絡協議会	1,000	○交流サロン開催(サロンだけでなく発行) ○交流イベント開催 ○地域交流会等参加支援 ○子どもの学習支援 ○小中学生を対象に教員OBや学生等を講師にした学習支援、あわせて子ども同士の交流を図る。
39	群馬	NPO法人 WorldWide 理事長 名和川 淳	避難者ネットワーク構築支援事業	1,000	○交流会参加者から、悩み事・連絡を取りたい人・支援してもらいたいこと等を聞き取りし、動画配信やフェイスブック、HP等による電子媒体、情報誌による紙媒体を通して発信していく、避難者及び避難者支援団体間のネットワーク化を図る。また、これらの情報を基に効果的な交流会を開催する。
40	岡山	子ども未来・愛ネットワーク 代表 大塚 愛	「子ども未来・愛ネットワーク」事業	1,000	○避難者の声を届けるシンポジウム ○避難者と地域住民の対話の場、他地域における避難者支援の実例の話題提供を行い、避難者支援に係る課題や状況を広い視点でとらえられるようにする。 ○交流会開催、避難者のための情報冊子作成 ○交流会で把握した避難者のニーズを基に情報冊子を作成して、岡山県内の避難者世帯に配布。
41	佐賀	西九州大学臨床心理相談室 室長 西村 喜文	「ほっとひろば西九大」事業	1,000	○臨床心理士サポートのもと、安心して・ゆつくり・リラックスできる時間を提供し、避難者間の情報交換等を通して交流を行う。 ○地域の関係機関との連携を行うため、行政・県人会・支援団体をメンバーとした連絡会議を開催する。
42	愛媛	NPO法人 えひめ311 代表理事 渡部 寛志	愛媛県及びその周辺地域の避難者に対する情報提供・相談業務・交流会事業	1,000	○情報提供・相談業務 ○常設の窓口開設、機関紙発行、訪問活動・アンケート実施(随時)、HP・ブログ・SNS環境整備 ○交流会開催 ○定例会に加え、隣県を含めた避難者を対象とした広域の交流会も行う。

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
43	茨城	元気つく場会 代表 古場 泉	「元気つく場会」が主催及び協力する避難者支援事業	1,000	○交流会開催(しゃべり場、ゲストを招いて) ○福島県内イベント参加を通しての交流 ○避難先の生活に密着した情報提供、避難者支援団体との連携しての相談会等の開催
44	茨城	NPO法人 フュージョン社会力創造パートナーズ 理事長 武田 直樹	原発避難者に対する戸別訪問・電話相談事業	998	○戸別訪問・電話相談 茨城県南地域への避難者を対象に各自治体、社会福祉協議会、避難者支援団体等の協力しながら実施。戸別訪問に当たっては、事前に訪問員の研修を行う。
45	岡山	よりはぐプロジェクト 代表 平尾 博美	ほっこりツアー開催事業	1,000	○交流会開催 ゆっくり話りたいというニーズに応え、1泊2日の交流会とする。なお、この他にも定例の交流会を開催。
46	広島	ひろしま避難者の会「アスチカ」 代表 三浦 綾	ひろしま避難者・安心生活サポート事業	1,000	○交流カフェ開催 ○法律・健康・教育等の勉強会・相談会開催 ○随時、避難者から支援依頼を受けたものに対する支援 ○広島市内の支援団体の連携を図るため、ミーティングを開催
47	新潟	ズーズー実行委員会 代表 増田 昌子	避難者の自立に向けた取り組みを全市的に支えていく仕組み作り	1,000	○避難者の自立を目的にした活動 ○避難者の震災経験や復興への想いを綴ったハガキ等を作成し、それを使用することで震災の風化を防ぐとともに、作成過程で避難者同士の交流も図る。
48	山形	NPO法人 おいたまサロン 代表理事 竹田 仁	絆再生広場「ソドリアソビダイベシタ」	1,000	○山林に設置された自然体験型広場の運営し、巨大かまくら作り・チューブスライダー等の企画を実施。雪のない時期も利用できるような環境を整える。
49	岡山	みちのくカフェ 代表 高橋 香	「みちのくカフェ」「みちのくナイト」開催事業	1,000	○交流会開催 みちのくカフェ:避難者同士の定期的な生活相談・情報交換の場、みちのくナイト:避難者と倉敷市民との「音楽」食の交流企画(福島の食と特産品、民謡などを演奏し、福島を思い出し出してもらおう機会としてもらう。子ども向けの交流企画、楽器を用いたワークショップもあわせて開催)

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
50	埼玉	SSネットまつぶし 代表 松崎 一男	～松伏すぎと子ども塾～	985	○避難者の子ども対象の学習支援講座「子ども学習塾」 ○郷土の自然や文化伝承を学ぶ「ふるさと講座」 ○保護者を交えた学習相談会 ○メールによる学習相談会
51	愛知	福島のみんな！あそびにおいで んプロジェクトin愛知 実行委員 会 代表 金子 優子	県外避難者支援事業	1,000	○交流会開催 大交流会:保養プロジェクトと合わせて、避難者・福島県民・岡崎市民が交流できる場を提供。 定例交流会:岡崎市(近郊含む)への避難者との交流 ○みんなの学びサポート 避難している子ども達に対して学習支援を行うとともに、地元の子ども達との交流を行う。
52	神奈川	守りたい・子ども未来プロジェクト 実行委員会 共同代表 田口 努 藤井 紀代 子	コミュニケーションばらばら「ふくしま カフェ」	1,000	○ふくしまカフェ運営(交流の場) ○インターネットや紙媒体による情報の定期配信 ○避難者同士のネットワークづくり ○世代・趣味・出身地など、つながる可能性があるテーマで、交流会・学習会・イベント等を開催。また、避難 者が多い地域への出張カフェも行う。 ○子ども達の健全な成長をはぐくむ企画の実施。
53	沖縄	福島避難者のつどい 沖縄じや んがら会 会長 桜井 野亜	避難者サポート事業	1,000	○親睦会開催 親睦会時のみならず日常生活においても精神的に支え合う仲間や協力者を見つけてもらう。また、避難者 に必要な情報を発信する。なお、宮古島支部では、定例会を行い情報交換するほか、交流会もあわせて開 催。高齢者の交流の場として農園作りも開始する。
54	山形	NPO「化石の森」のかい 代表 堀江 光夫	南相馬・山形 絆事業	1,000	○交流会開催及び会報発行 季節ごとのイベントに合わせて開催、会報については紙と映像で発行し、交流会終了後も繰り返し話題に できるよう工夫する。また、福島在住者の方への想いのメッセージも発信。
55	鳥取	とっとり震災支援連絡協議会 代表 船山 雅代	避難児童生徒「心」と「体」育み 事業	1,000	○児童・生徒の学習支援 静かで集中できる環境、年齢別に学習支援サポートター等を提供し、同時に保護者間のサロン を開催し、子ども達・保護者同士の交流の場も提供。 ○中国5県ネットワーク事業 子ども達の心身の育みを主題とした支援団体同士のネットワーク化を図り、取組の共有を行うとともに、避 難者支援全般に対する支援方法についての情報共有。
56	青森	NPO法人 国際ボランティアセンター青森 理事長 天内 恵美	繋がろう！福島～青森避難者支 援会	1,000	○定期的な交流の場の提供 ○定期的に福島県と青森県の観光・イベント情報等を掲載した交流新聞作成・発送 ○避難者との交流会開催 ○手芸体験・国際交流と健康相談会・秋の収穫体験といも煮会・異文化料理教室交流等



ふるさとくしくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
57	静岡	NPO法人 ふくてハッピーハンズ 理事長 菅原 耕司	避難者の一時帰還と避難者と帰還者の再会と支援者を変えた手話のうたコンサート交流事業	1,000	○交流会開催 静岡県静岡市周辺に避難している方と福島に戻った方、戻ったが避難区域外に移転された方との交流を通して被災地の現状を知る機会の提供とともに、手話の歌を通して避難者と地域住民との交流会も行う。
58	山梨	東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会 会長 折笠 浩二	「結ぶ会」地域情報提供事業	1,000	○これまでの活動で構築した県内避難者データベース、県内各種支援団体・居住自治体との協働関係を活用した避難者支援事業の実施と避難者サポート。 ○避難者同士の交流機会提供、孤立化・孤独化が懸念される高齢者・未就労者・単独避難者の社会参加を促す。
59	埼玉	相双ふるさとネットワーク 代表 大田 恵美子	がんばろう ふくしま つながろう さいたま2013	1,000	○夏祭り・福島物産展開催 ○定期開催の交流会、ふるさと会の集大成として、被災者自身が活動する機会を創出することで、同郷のコミュニティを継続させ、心の復興を支援。
60	山形	MOM'S 代表 土屋 一恵	避難者コミュニティ活性化事業	1,000	○コミュニティ作り(お茶会・ものづくり教室・親子書道教室・地域の生活様式学習) ○学習補助(子ども学習会・親同士のミニお茶会も実施) ○子育て支援(学校と子育てについての講演会) ○健康増進(親子研修&リフレッシュ旅行) ○他の被災地域や仮設住宅を訪問し、交流を図るとともに心身のリフレッシュを図る。
61	静岡	NPO法人 地域づくりサポーターネット 代表理事 山内 秀彦	ふじのくにに避難者コミュニティ形成・生きがい創出事業	1,000	○避難者サークル活動開催 ○福島県からの避難者と一緒に情報交換や楽しみ・生きがいをもつための「体験会」を企画・開催。 ○交流会開催 ○避難者が楽しむだけでなく、支援団体への感謝の気持ちを伝える企画も取り入れる。 ○避難者と一緒に作る情報誌の編集・発行
62	静岡	SAVE IWATE しずおか 代表 伊藤 光造	静岡への避難者交流コミュニケーション促進事業	1,000	○交流情報拠点の運営 ○地元新聞、被災地のコミュニティペーパーの閲覧、被災地産品の販売、土日はボランティアスタッフによるコミュニケーションもあり。 ○被災者交流クラブカフェの開催 ○交流会開催
63	栃木	避難者支援「春風」 代表 奈良 孝太郎	避難者支援「春風」事業	1,000	○避難者交流会の開催 ○地域住民との定期的イベントの開催 ○各種講習会・勉強会の開催

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
64	山形	ハチドリ一滴の会 代表 八矢 昭司	心と身体の元気事業	600	○「学びの教室」開催 ○身体運動の「体操教室」開催 ○「土と野菜のふれあい教室」開催 ○その他(海水浴の機会の提供、蕎麦打ち教室、手芸講座など)
65	埼玉	上尾向原宿舎被災者の会 代表 富永 まゆみ	避難者同士のコミュニティの構築と維持事業	1,000	○交流会開催 ○悩み事や相談等にも対応できるようにする。あわせてコミュニケーションの取り方・話し方を学ぶことで、交流しやすい環境を作っていく。 ○季節行事の開催
66	東京	NPO法人 こどもプロジェクト 理事長 福田 恵美	東京の避難母子ほんわか広場	1,000	○交流会開催 ○食事を作る機会が減っている避難母子対象の料理教室を開き、避難母子同士が交流・情報交換する場を提供し、心身ともにリフレッシュしてもらう機会をつくる。なお、保育サポートを付けることで母親の負担軽減を図る取組もあわせて行う。
67	東京	南会津と世田谷を結ぶ会 代表 渡辺 文学	福島県外避難者支援・南会津と世田谷を結ぶ事業	1,000	○県外避難者が交流・相談できる窓口を設置し、定期的に交流会・相談会を開催 (福島の民謡コンサート、ふるさとの食べ物提供、専門家を招いての学習の場の提供、ハンドマッサージなど)
68	東京	東久留米住宅ふれあいの会 代表 佐々木 啓治	避難者交流ふれあい事業	989	○ふれあいサロンの開催(お茶会、読み聞かせ、健康相談・体操、パソコン教室、英会話教室など) ○季節行事の開催を通しての交流及び美化活動(バーベキュー、いも煮会、住宅周辺の草むしりと落ち葉かきなど) ○情報提供としてのニュースレターの発行
69	東京	一般社団法人 復興開発支援機構 代表理事 北澤 浩延	広域避難者親睦会事業	1,000	○親睦会開催 ○身体を動かすこと、笑うことでストレス発散をしてもらおうとにも、子ども向けイベント等も併設し、全員参加型の交流を図る。また、会場には土業の合同相談コーナーも設置。
70	宮城	NPO法人 地球の榮好 理事長 千葉 透	東京都内避難者への情報発信、サロン開催、連絡網整備事業	1,000	○交流サロン開催、避難者への情報提供及び連絡網整備 ○主催のサロンや他主催のサロン、行政機関等を通じて避難者の状況を把握していき、これについて連絡網という形でとりまとめ、これを活用しながら、各地のサロンや情報交換会の開催情報等を発信し、申請団体においても多くの方々が参加できるサロンの開催を通して、避難者の健全な生活再建と早期帰還を図る。

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
71	東京	中央区内の被災避難者を支援するシニアの会 会長 皆川 毅一	避難者同士、避難者とボランティア・市民が交流する憩いの場「がんばっぺ〜中央・佃シニアサロン」	1,000	○交流会開催 ○大人向け相談業務、講座開催(税理士、弁護士、司法書士、医師、保健師、カウンセラー、アロマセラピスト、美容師など) ○幼児、子ども向け学習塾(場合によっては、親・祖父母も一緒に)及び大人・子ども向け学習塾開催 ○避難家族からの要望・希望の多い場所やイベントへの見学ツアー、体験講座などの課外活動の実施
72	東京	NPO法人 医療ネットワーク支援センター 理事長 人見 祐	県外避難者のための円滑な支援に資する個人情報取扱についての支援関係者連携強化事業	1,200	○県外避難者を交えての交流会、個人情報取扱についてのセミナー開催 ○交流会開催による交流の場の提供、情報提供等とともに、支援する際に重要な個人情報取扱いの現状、課題について、避難者との情報交換や関係者間を集めてのセミナーを通じ、個人情報の適切な取扱いについて啓発を図ること、支援団体による支援活動、避難者自身による自助活動を促進する。
73	栃木	鹿沼地区福島震災会 代表 長谷部 周	福震災交流会事業	1,000	○交流会開催 ○福島県内避難者との交流会(イベントと合わせて実施) ○県外避難者団体との交流会(避難者が抱えている現状、今後の希望等を話し合う)
74	神奈川県	SDCハートマミーズ 代表 小畑 まゆみ	神奈川県内に避難者の輪を広げ、孤立化を防ぎ、絆を強めるサロン事業	1,000	○避難者交流サロンの運営 ○福島県の情報等の発信 ○避難者のための会報誌発行 ○関係団体と連携した支援企画実施(交流会等に相談員として参加、スタッフとして企画に参画)
75	埼玉	想い 代表 徳原 美陽子	記録誌作成・交流会及び相談会開催・他支援団体との交流事業	1,000	○会報誌発行 ○賠償や交流会、参加者の意見等、さまざまな記事を掲載。 ○避難者交流会及び専門職(税理士・司法書士・弁護士)による相談会開催
76	愛知	アースデイいわき実行委員会 実行委員長 吉田 拓也	「アースデイいわきinなごや」開催事業	1,000	○避難者交流会 ○県外避難者や自主避難者の現状や震災復興に向けて日々行動している福島の方々の今を知ってもらうことで、福島県人同士の新たなコミュニケーション構築や東海地方、愛知県の多方面の方との新たな出会いと交流を深め、県外避難者の一歩を踏み出すきっかけにするもの。
77	滋賀	東日本大震災滋賀県内避難者の会 世話人代表 遠藤 正一	滋賀県内広域(県外)避難者「安心と広がり」サロン事業	1,200	○避難者支援のための情報収集・発信(福島県からの避難者がスタッフとなる) ○交流会開催(ミニサロン・全体交流会) ○機関誌紙発行

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第一次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
78	沖縄	沖縄避難者サポートネットワーク 代表 菊井 博子	沖縄避難者サポートステーション 事業	1,200	○沖縄避難者サポートステーション設置 ワンストップの支援を行うこととし、連携団体と連絡会を開催して機能強化を図る。定期的に避難者交流会を開催。 ○福島県人会交流イベント開催
79	京都	避難者と支援者を結ぶ京都ネット ワーク みんなの手 代表 西山 祐子	避難者の居場所作りと避難者と ふるさとをつなげるイベント・交流 会事業	1,000	○避難者の居場所づくり 避難者が集える場を開設。交流会、福島県の新聞や広報紙などの情報発信、これまで行ってきた各種セミナー・相談受付・写真展・ニュースレター発行等を強化して取り組む拠点とする。 ○ふるさとをつなげるイベント・交流会開催
80	埼玉	被災者の会 ひまわり 会長 橋 光顕	毎月定例連絡会合・東日本大震 災を考える事業の開催事業	800	○交流会開催 定例会合と合わせて、上尾市及び埼玉県内の被災者の会とも交流を積極的に進めるため、イベントと合わせた交流会を開催。
81	兵庫	NPO法人 姫路発 中高生のための東日本 災害ボランティア 理事 西本 芳浩	兵庫県を中心として、大阪府、岡 山県に避難されておられる方々 の生活支援全般とコミュニティー 造り事業	1,000	○交流スペースの開設 団体のある建物に事務所と談話室を設け、来訪者は日誌で記録を取り、継続して支援していく。 ○季節ごとの交流会の開催(夏のハーベキュー会など)
82	栃木	みんなのありがとうを繋ぐ復幸 本 代表 編集 長 宇治川 ラン(田 部 井 綾子)	みんなのありがとうを繋ぐ復幸 本事業	1,000	○避難者支援団体主催のイベントへの参加・取材・情報提供 ○複数団体と共同の交流会開催 ○避難者情報冊子発行 ○避難者や支援団体を取材し、一般メディアでは取り上げられない小さな声を無料冊子の発行する事で伝 達。
83	埼玉	旧騎西高校自治会 会長 幾田 慎一	交流カフェ等運営事業	1,000	○交流カフェの運営 旧騎西高校生徒ホールで避難者及び地域住民との交流を深める。
84	奈良	奈良県被災者の会 代表 高橋 周介	奈良県避難者実態調査事業	1,000	○避難者実態調査 奈良県内の避難世帯の安否を確認し、必要に応じた支援を行う。また、可能な限り避難者の情報を収集し、平成26年初旬と平成25年に行った実態調査とを比較し、どのような変化が起きたかを調査する。

ふるさとふくしま帰還支援事業(県外避難者支援事業)交付決定一覧  
【平成25年度募集(第二次)】

全体番号	都道府県名	申請者名	事業名	交付金額 (千円)	事業概要
1	茨城	メイクチーム LOVE for earth 代表 古内 杏奈	メイクボランティア&お茶会(東 日本大震災被災者・県外避難 者)支援事業	500	○メイクボランティア&お茶会 ・メイクボランティア…カウンスリングも含めた1人約20分のワンポイントメイクレッスン ・お茶会…茶菓子や子ども用の遊戯スペースを用意
2	神奈川県	かながわ避難者支援ネット (かながわ避難者と共にあゆむ 会) 代表 鈴木 貴	福島ふるさとバス便企画運営事 業	500	○神奈川県内に避難している福島県民が利用できる「福島ふるさとバス」を運行し、避難元住民との交流を 図る。 要望が多い12月に2便予定。 避難元自治体とも連携を図り、自宅までの交通手段も確保できるよう配慮する。
3	茨城	一般社団法人 茨城県健康生きがいづくり協議 会 理事長 白石 平九郎	福島県からの避難者の健康・生 きがい増進事業	500	○農作物(蕎麦・大豆・野菜)の収穫を通じた健康増進・交流事業 収穫を通じて身体を動かし、健康増進を図るとともに、同じ境遇の方達と語らうことで、明日への生きがい を見つけてもらう。また、農作業の際には、定期的に「お茶会」を開催するとともに、その作物の収穫時期等に 合わせて、蕎麦収穫祭・手前味噌作り・野菜収穫祭を開催し、健康や生きがい、悩み事について話し合える 場を提供していく。
4	東京	みちのくまほろば会 会長 後藤 恭子	みちのく避難者たすけあい親睦 交流事業	500	○中高年者の孤立防止に重点をおいた取組の実施 ・ヨガレッスン・手芸・ちぎり絵など趣味の手仕事交流会 ・芋煮会、カラオケ新年会などの季節行事 ・被災地の現状情報提供(写真展、DVD上映等)や地域の減災に寄与するお話し会 ・バス散歩親睦交流会
5	栃木	栃木避難者母の会 代表 大山 香	福島県から避難してきた母のた めの生活、子育て支援事業	427	○託児付きおしゃべり会の開催 子育て世代の当事者による交流会を開催し、母親が本音で語れる場を提供する。 ○母の会会報の発行及びブログ運営 ○(希望ある場合)家庭訪問による傾聴
6	千葉	わかば「お茶っこ」しよう会 会長 田沼 淳子	地域でみんながで震災支援「お 茶っこ」事業	500	○避難者と地域住民の交流事業 ・「お茶っこ」しよう会」開催(避難者と地域のボランティアとの交流の場) ・お茶っこカフェ(避難者と地域の人との交流、避難者の健康づくり、震災を考える場) ○避難者生活支援のためのニーズ調査 アンケート返信者に対して、ニーズに合った支援活動や情報提供を行う。